



「時分の花、年々去来の花、めづらしき花、無上の花、幽玄の花、……まことの花」

世阿弥は能における美の本質とその在りようを、「花」の姿にたとえました。

そして能には世界の演劇の中でも珍しく、松や梅、桜、藤、柳といった植物の精を主人公とした演目があります。草木成仏という日本独自の仏教解釈をもとに、植物の精が法華経の功德で成仏するストーリーや、植物の精が神や仏の化身である話など、美しく夢幻的な世界が、自然と一体となって展開されるのです。

能装束や扇を彩る華麗な花文様から、神、男、女、狂、鬼、多様な能面に宿る心の花、そして植物の精が誘う幽玄世界まで、能の理想美である「花の風姿」を感じて頂ければ幸いです。

能旅バスツアー 能楽師と巡る北陸の謡跡

北陸には有名な能<安宅>の関をはじめ、能の舞台となった謡跡が点在しています。今回は金沢能楽会の人気能楽師と共に、<歌占>の滝や<仏原><祇王>ゆかりの旧跡などを訪ねます。ランチは白山比咩神社の境内に佇む和田屋にて川魚山菜料理を楽しみ、謡や仕舞のご披露も!

講師



高橋右任 高橋憲正
(能楽師シテ方宝生流)



日程: 6月17日(日)日帰り

定員: 40人

※詳細は5月8日(火)HP等でご案内予定

しょうたい 写謡の会

※要申込

静かな時の中、美しい能の謡を書き写し、心身を浄化させてみませんか。当日午後に催される定例能(於石川県立能楽堂)について、能楽師による解説の後、謡本の流麗な文字をなぞります。

日程	演目	ゲスト講師 (シテ方宝生流)
5月6日(日)	田村・胡蝶	渡邊 茂人
6月3日(日)	西王母・忠度	藪 克徳
7月1日(日)	加茂物狂・大会	高橋 憲正
9月2日(日)	小督・昭君	佐野 玄宜
10月7日(日)	六浦・天鼓	渡邊 茂人
11月4日(日)	橋弁慶・當麻	佐野 玄宜
12月2日(日)	岩船・通小町	藪 克徳

時間: 10:15~約1時間

持ち物: 筆ペン(または筆・墨・すずり)

参加料: 1回500円+観覧料

特別講座

「四季をまとう —能装束の色と文様—」

着物の色や文様には、日本の豊かな自然が凝縮されています。各時代のトップモードが取り込まれた能装束から、日本人の美意識を探ります。

日時: 9月1日(土)14:00~15:30

会場: 金沢能楽美術館 3階

参加料: 無料(観覧料が必要です)

申し込み受付: 7月31日(火)開始

定員: 先着100人

講師: 丸山伸彦

1957年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士修了。国立歴史民俗博物館情報資料研究部助教授、金沢美術工芸大学助教授を経て武蔵大学人文学部教授。専門は日本の染織史。主な著書に『江戸のきものと衣生活』(小学館 2007)、『江戸モードの誕生一文様の流行とスター絵師—』(角川学芸出版 2008)、『日本史色彩事典』(吉川弘文館 2012)、『演目別 歌舞伎の衣裳 鑑賞入門』(東京美術 2014)など多数。

能の楽器体験

※予約不要、体験無料(観覧料が必要です)

時間: 10:00~17:00 ※体験時間20分程度

会場: 金沢能楽美術館 3階

4月	5月	6月	7月	8月	9月
17日(火) 24日(火)	1日(火) 8日(火) 22日(火) 29日(火)	5日(火) 12日(火) 19日(火) 26日(火)	24日(火) 31日(火)	7日(火) 14日(火) 21日(火) 28日(火)	4日(火) 11日(火)

ナイトミュージアム

20時まで延長開館します!
6月1日(金)・2日(土)

Kanazawa Noh Museum 金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25

TEL076-220-2790/FAX. 076-220-2791

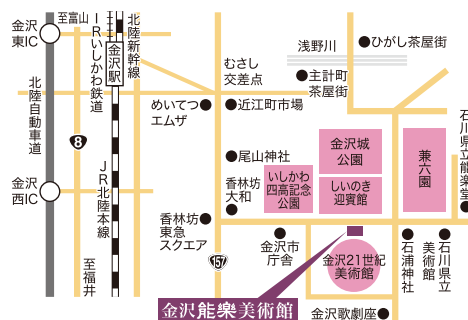
http://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

アクセス

金沢駅兼六園(東口)バスターミナルより乗車、「広坂」または「香林坊(アトリオ前)」下車。(所要時間約10分)

https://www.facebook.com/kanazawa.noh.museum

金沢能楽美術館 検索



紅無柱若文嬬扇
(明治時代)
紫地藤春草文縫箔
(昭和時代)

